

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6 年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 佐賀鍋島教室 保護者等数(児童数) 19 回収数 16 割合 84%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	0	0	写真などでしか室内を見る機会が無いので詳しく	ご希望を出してもらって部屋や子どもの過ごして
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	0	0	2	記載なし	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	1	1	2	記載なし	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	1	0	0	息子のできること、難しいことを話すと一緒に共	今後も保護者さんとしっかり話たり、子どもの姿
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	1	記載なし	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	0	2	10		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0	0	料金が発生してしまう場合など丁寧な説明があ	今後も説明を丁寧にしていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1	0	0	いつも丁寧に様子を教えて頂いている。できる	今後も丁寧に伝え保護者さんと共通理解できる
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	0	0	記載なし	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	1	6	4年前に水ヶ江教室であった保護者交流会(懇	長期の休みなどにイベントとして保護者さんの参
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	0	0	3	記載なし	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	0	急ぎの場合を除いて、時間も気にせず記録とし	必要に応じて電話やメール、直接など考慮しな
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	0	0	0	記載なし	
14 個人情報に十分注意しているか	16	0	0	0	記載なし		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	1	0	2	記載なし	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	0	0	3	記載なし	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	1	0	0	最近、帰りたくなる日があるのが少し気になる。	平日の帰りが遅い日にしたいことができなくて帰
	18 事業所の支援に満足しているか	15	1	0	0	学校と家庭の行き来のみならず、事業所の先生	これからもいろいろな経験ができるようにしてい

242 13 4 29

84%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 佐賀鍋島教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	学習室、図書室、活動スペースなど子どもが多くても過ごしやすいスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	子ども3人に職員1人はつくようにしている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	教室が2階にあるため階段があるが、手すりや階段の幅など子どもが登りやすくなっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	アンケートを実施して、改善が必要なところは話し合い対応している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	定期的に研修が行われている。	今後も研修に参加して質の向上をしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	保護者さんの希望を聞いたり実際に子どもと関わる中で必要と感じていることを員間で話し合っ	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	アセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0		話し合っって作成しているが、時々個人になってい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	個別でできる支援と集団でできる支援を考え行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝のミーティングで打ち合わせをしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	毎日、振り返りを行い次はどうつなげて行くか話し合っている。その日休みの職員にも共有でき	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	参加するにあたって職員で情報を集めて話し合いをしている。		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	学校との顔合わせに参加し年間計画や行事など確認したり、必要に応じて連絡をとっている。		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2		医療的ケアが必要な子どもの受け入れがあった
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	児童発達支援と情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	4		今後、該当する利用者さんが出てくるのでその
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6		公園やお出かけ先で関わることはあるが、一緒
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	0	ペアトレの機会を設けている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約の際に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	相談があった際に話を聞いて一緒に今後の支援を考えている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	4	保護者も参加できるイベントを行っている。	今後も取り入れ回数を増やして行きたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	毎月、発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	十分に注意して取り扱っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0		保護者への周知を今後していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	研修を受けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	その日にあったヒヤリハットをなるべくその日のうちに今後の対策まで考えている。	